



「尊敬と感謝のこもった
「あいさつ」に触れて」

長梅雨が続いた上、大雨で一学期の終業式が一日延び、かと思えば、夏休みに入った途端に猛暑の日々が続きました。

そんな中、全国高校野球甲子園大会が開幕し、夏の大会三連覇を狙う駒大苫小牧を早稲田実業が延長再試合の末破り、初優勝しました。その他の試合でも逆転・延長戦の試合が多く、毎試合が感動の連続でした。その熱戦が繰り広げられていたのと同じ時期、生徒を引率して地元の高校のオーブンスクールに行った時のことです。

ある高校では、丸坊主頭で真っ黒に日焼けした生徒が、一瞬立ち止まり、しっかりと私の目を見て、「こんにちは。」と丁寧にあいさつをしてくれました。恥ずかしさと嬉しさ、そして気持ちよさを感じながら、「こんにちは。」とあいさつを返しました。

このような心のこもった「あいさつ」には、目上の人や先輩に対

する尊敬の気持ちと感謝の気持ちが込められているのだと思います。

「あいさつをしましょう。」と、いつも生徒たちに言っているのですが、何のためにあいさつをするのか考えさせられた思いがしました。

「あいさつ」は、スポーツや部活動での指導の一環と考えられがちですが、心のこもったあいさつのできる精神を育て、身体を鍛えることは、人間形成を図る上で大切な指導だと思います。

甲子園大会は、健全な精神と肉体を育ててきた選手たちの最高の試合の場だからこそ、私たちに多くの感動を与えてくれたり、すがすがしい気持ちにさせてくれたりするのだと思います。

心のこもった「あいさつ」ができる素直で健康な心を、これからも学校や家庭や地域で育てていきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

奥津中学校 池上 慎二

のびのびひろば

郷幼稚園

なしがり たのしかったよ!

郷幼稚園では毎年、下原の井上農園に梨狩りにおじゃましています。今年も親子で梨狩りに行きました。台風一過のさわやかな日になり、ジュシーで甘い梨をおいしくいただきました。みんなしあわせの笑顔でした。大変お世話になりました。

これがいいな



わたしは
これにしよう



すみれ組のみんなで ハイ! チーズ

食欲の秋です!



みんなで食べたらとってもおいしいね。



また来年くるね。ありがとう。